

神奈川県立七里ガ浜高校
(神奈川県鎌倉市)

保護者の協力で
おしやれなトイレに一新

保護者・教職員と生徒が協同し、3Kだったトイレをリニューアル。快適なパウダールームに変身させました。



冷たい印象だったタイル貼り部分は木質化をはかり、明るい印象に。

Before



築38年の校舎はトイレも古く洗面台にはシミも。生徒たちの使い方も粗く、ゴミが散乱。「一つでも学校のトイレがきれいになったことで、ほかの校舎もきれいに使うように生徒の意識が変わりました」(吉田校長)。

できることは
自分たちで

グローバル化が進展する中、外国でも通用する大人に育てるには、身だしなみが重要。海外経験の豊富な民間出身の校長、吉田幸一先生は考え、PTAの協力のもと、築38年のトイレを、身だしなみを整えられるおしやれなパウダールームに変えました。「費用はない。だからといって使えればいいだけのトイレではない。『汚い、臭い、暗い』トイレは閉鎖的で、ときにはいじめを生むこともあり、生徒に孤独感を与える。教育環境を快適にすることは、教育力を上げるた

めに欠かせません。何とか快適に使い、身だしなみチェックもできるトイレにしたい」

PTAと相談し、保護者会が積み立てた約130万円を使うことに。豊建築事務所の向井藤子さんにアドバイザーとして入ってもらいつつ、ペンキ塗りなどは自分たちで。大きな姿見やベンチは購入し、保護者が組み立てました。観葉植物を置き、看板は美術部員が作成。手作りのきれいなトイレは、校内でも人気となり、大半の生徒が使うようになり、結果として、他の校舎もいねいに使い、清潔さを保てるようになりました。

●学校のトイレのどこが問題だと思いますか？

